

東京・八重洲地下街で恒例の観光キャンペーン



迫りくる迫力と光にあふれた作品は、まさに「神々の庭」カムイミントラそのもの。混雑する通行の合間を縫って訪れた都心のサラリーマンなど、多くの人が足を止め、神々しいまでの表現作品に見入っていました。

特産品フェアでは、近年の水ブームの追い風も手伝って「大雪旭岳源水」ペットボトル（500ミリ入り）が大好評でした。

5月27日から6月2日まで7日間、JR東京駅の八重洲地下街で毎年恒例の東川観光キャンペーンを行いました。

センタースポーツ会場では、旭川市と東川町の大雪山・表大雪観光圏「大雪山観光フェア」として、木工クラフト製品、特産品を販売。併せてメーンアベニュー会場では、写真家、林明輝氏の写真展「北海道大雪山写真展―大きな自然・大雪山―」も開きました。

北海道スキー部夏見団選手が春季旭岳合宿のあいさつ

5月25日、JR北海道スキー部の夏見団選手（30）、石田正子選手（28）とともに旭大高卒Ⅱらが今年度の春季旭岳合宿のあいさつのため役場を訪れました。

08・09シーズン最後の恒例合宿は、5月前・後半に分けて行いました。後半合宿は、同月21日から29日まで旭岳クロスカントリーコースで行

花本建設、基線街路の花壇整備ボランティア



5月28日、花本建設株（旭川、花本金行社長）が道道旭岳天人峡線の中心市街地カラー舗装歩道で、植樹帯の整備ボランティア作業を行いました。

した。

同社が歩道整備事業の請負工事を担当したことが縁で、昨年からのその後の植樹帯整備を社員ボランティアで始めました。

カラー舗装区間をほぼ3区に分け、毎年3分の1ずつ春の整備をしよう、というものです。

社員16人が2班に別れ、花壇の植え付けシーズンに先駆けて、土の掘り返し、根切り作業を行いました。ショベルローダーやダンプカーも出動して本格的な整備作業です。町内会や花俱樂部の皆さんが担当して整備した花壇植え込み作業も、その後楽に行うことが出来ました。

われ、日本ナショナルチームのワックスマン兼テクニカルコーチ、ジサツファイ・ファビオ氏、早稲田大スキー部（岡田亮典コーチⅡ北海学園札幌高校教員）を加えた合同トレーニングになり順調な仕上がりを見せたようです。

